

第 20 回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋）

開催基本計画

Ver.2

2024 年 3 月



愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会

目次

第1章	概要	3
1.1	原則及びマーク	3
1.1.1	スローガン	3
1.1.2	エンブレム	3
1.1.3	マスコット	4
1.2	大会の詳細情報	5
1.3	運営体制	7
第2章	運営	8
2.1	競技	8
2.1.1	競技プログラム	8
2.1.2	競技関連業務	9
2.1.3	競技用備品	10
2.1.4	表彰式	10
2.1.5	医療サービス	11
2.1.6	アンチ・ドーピング	11
2.1.7	テストイベント	12
2.1.8	スポーツプレゼンテーション	12
2.2	式典及び文化プログラム	15
2.2.1	開会式及び閉会式	15
2.2.2	入村式	16
2.2.3	聖火リレー	16
2.2.4	文化プログラム	17
2.3	競技大会施設	19
2.3.1	競技会場	19
2.4	宿泊	43
2.4.1	選手団宿泊施設	43
2.4.2	大会関係者（選手・チーム役員以外）宿泊施設	44
2.5	競技大会要員	46
2.5.1	組織・人材	46
2.5.2	人材の採用・確保	46
2.5.3	ボランティア	47
2.5.4	教育・研修	47
2.5.5	ユニフォーム	48
2.6	競技大会の物品	50
2.6.1	調達	50
2.6.2	レートカード	50
2.6.3	通関（税関）	50
2.7	輸送	52

2.7.1	輸送実施体制.....	52
2.7.2	到着/出発時の輸送.....	52
2.7.3	開会式及び閉会式時の輸送.....	52
2.7.4	競技時の輸送.....	53
2.7.5	輸送計画の策定.....	53
2.8	情報技術.....	55
2.8.1	アジア競技大会情報システム（AGIS）.....	55
2.8.2	電気通信サービス.....	55
2.8.3	気象情報.....	56
2.8.4	計時計測及び掲示板.....	56
2.9	メディア.....	57
2.9.1	メインメディアセンター（MMC）.....	57
2.9.2	放送.....	57
2.9.3	報道（新聞・雑誌・テレビ・インターネットメディア等）.....	58
2.9.4	メディアサービス.....	59
2.10	国際関係.....	61
2.10.1	OCAとの協力.....	61
2.10.2	NOCとの協力.....	61
2.10.3	会議.....	61
2.11	プロトコル.....	64
2.11.1	場所別プロトコル.....	64
2.12	ア krediteーション.....	66
2.12.1	ア krediteーションのカテゴリー設定.....	66
2.12.2	入国手続とア krediteーション.....	67
2.12.3	ア krediteーションセンター.....	67
2.13	警備.....	68
2.13.1	実施体制.....	68
2.13.2	対策.....	68
2.14	大会プロモーション.....	70
2.14.1	インターネットの活用.....	70
2.14.2	PR イベント.....	70
2.14.3	報道対応.....	72
2.14.4	刊行物.....	73
2.14.5	インフォメーションセンター.....	73
2.15	マーケティング.....	75
2.15.1	スポンサー、ライセンス付与及び商品化計画.....	75
2.15.2	チケットिंग.....	75

本計画は、先催大会の状況を始め 2024 年 3 月時点で入手可能な情報に基づいて定めたものであり、様々な要因により変更する場合があります。

第1章 概要

1.1 原則及びマーク

1.1.1 スローガン

IMAGINE ONE ASIA

ここで、ひとつに。

- 「IMAGINE ONE ASIA ここで、ひとつに。」スポーツには、言語や文化、国境を越えて、人々を結びつける力があります。愛知・名古屋 2026 大会では、スポーツが持つこの力を活かし、さらには、多様性が進む社会に生きる私たちひとりひとりが、それぞれの「ONE ASIA」を想像（IMAGINE）することで、絆を深め、未来へ向かって進んでいけるようにとの願いを込めたものです。また、選手、ボランティア、観客など大会に関わる人々が、様々な時間や空間、体験や感動を共有し、ひとつになっていこうという想いも込めました。

1.1.2 エンブレム



- スポーツの持つ躍動感を自由な曲線で描いています。さん然と輝く太陽（OCA シンボル）と、紫・金・緑で作られられる中央の直線は、人々が「ひとつ」に集い、未来へ向かう様を表しています。
- 愛知・名古屋らしく、愛知県の花「カキツバタ」の紫と、「名古屋城」の「しゃちほこ」の金、そして、

愛知万博、COP10、ESD、ユネスコ世界会議を通じて培われた環境への想いを表す緑で彩っています。

- また、紫と中央の直線は「アジア（Asia）」と「愛知（Aichi）」の A を、紫と金は「名古屋（Nagoya）」の N をかたどっています。

1.1.3 マスコット

- 2024 年 5 月までに平面（デザイン）、7 月までに立体（着ぐるみ）を公表します。

1.2 大会の詳細情報

○ 大会名称

正式名称	第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）
略称	①愛知・名古屋 2026 アジア競技大会／②愛知・名古屋 2026 大会／ ③愛知・名古屋 2026

○ 組織委員会名称

正式名称	公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会
------	--------------------------------

○ 開催都市

- 愛知県、名古屋市

○ 大会期間

- 2026年9月19日（土）～10月4日（日）

○ 参加者数

- ・ 選手団（選手・チーム役員）上限 15,000人（但し、選手上限は10,000人とする）
- ・ OCAファミリー 2,000人（想定）
- ・ 競技大会役員（TD¹、ITO²及びNTO³） 3,300人（想定）
- ・ メディア 10,000人（想定）
- ・ ボランティア 28,000人（想定）
- ・ その他、運営要員、スポンサーなどの人数が加算される。

¹ TD (Technical Delegate) 技術代表

² ITO (International Technical Official) 国際技術役員

³ NTO (National Technical Official) 国内技術役員

○ 施設

- 競技会場、練習会場、選手村（以下「選手団宿泊施設」という。）、メインメディアセンター（MMC）など

○ 実施競技

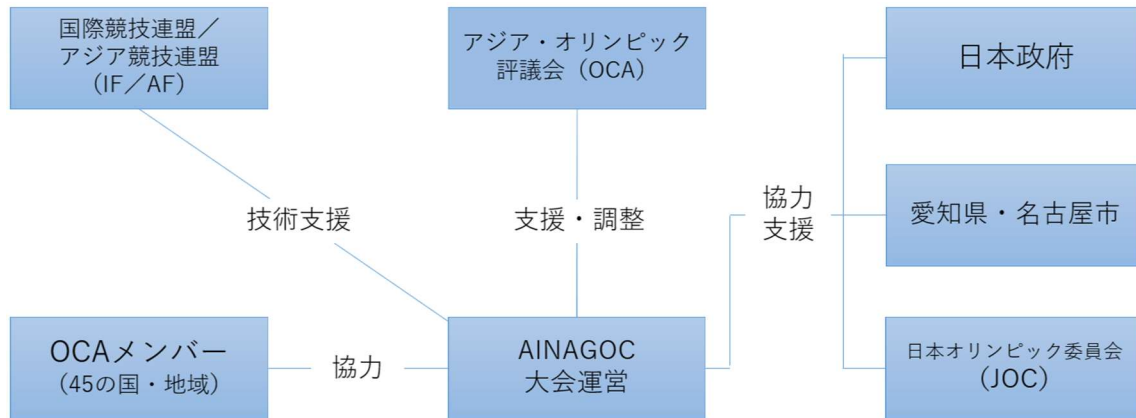
- 2.1.1 競技プログラム参照

○ その他のイベント

- 開閉会式、聖火リレー、文化プログラムなど

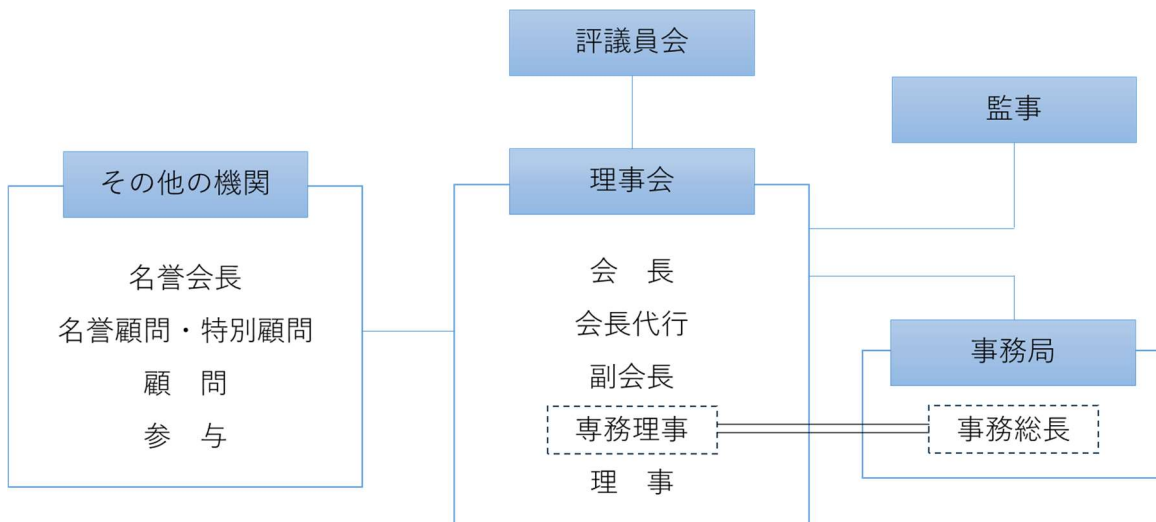
1.3 運営体制

○ 大会運営



○ 大会組織

- AINAGOCは各準備段階において必要な体制を整えます。
 - ・ AINAGOCの状況（2024年3月現在）



第2章 運営

2.1 競技

2.1.1 競技プログラム

○ 競技数：41

カテゴリー	競技数	競技
オリンピック競技	32	水泳、アーチェリー、陸上競技、バドミントン、バスケットボール、ボクシング、ブレイキン、カヌー・カヤック、自転車競技、馬術、フェンシング、サッカー、ゴルフ、体操、ハンドボール、ホッケー、柔道、近代五種、ローイング、ラグビー、セーリング、射撃、スケートボード、スポーツクライミング、サーフィン、卓球、テコンドー、テニス、トライアスロン、バレーボール、ウエイトリフティング、レスリング
アジア5地域の競技	5(各1)	【中央アジア】クラッシュ 【東アジア】武術太極拳 【南アジア】カバディ 【東南アジア】セパタクロー 【西アジア】柔術
AINAGOC 提案競技	2	野球・ソフトボール、空手
OCA 提案競技	2	スカッシュ、Eスポーツ

- 実施競技は、開催都市契約書に基づき、第42回OCA総会（2023年7月8日）で決定されました。
 - ・ 2024年のパリオリンピック競技大会で実施される競技を実施します。
 - ・ アジア5地域（中央アジア、東アジア、南アジア、東南アジア及び西アジア）での普及を考慮して決定される競技を実施します。
 - ・ AINAGOCが自らの裁量で提案する最大二つの競技を実施します。
 - ・ OCAとの協議の上、OCAが提案する最大二つの競技を実施します。
 - ・ 上記にかかわらず、競技を実施する上で困難な状況（例えば、適切な競技会場の欠如など）がある場合には、OCAとの協議により、大会において当該競技を実施しないこととし

第 2 章 競技

ます。また、選手・チーム役員が 15,000 人を超えない範囲で実施競技を OCA と協議します。

- 種別については、パリオリンピック、過去のアジア競技大会の実施種別を参考とし、58 種別とします。
- 種目については、以下の方針に基づき OCA と調整を行います。
 - オリンピック競技の 32 競技については、2024 年のパリオリンピックの実施種目に準拠します。
 - オリンピック競技以外の 9 競技については、杭州アジア競技大会の実施種目に準拠します。
- 競技日程
 - 競技日程についてはデイリースケジュール、セッションスケジュール、イベントスケジュールを作成します。
- 競技プログラム（実施競技・種別・種目、競技会場、デイリースケジュール、セッションスケジュール（ドラフト版））は、大会 2 年前までに OCA に提出します。

○ デモンストレーション競技

- OCA と協議の上、大会期間中又は前に、大会の広報上の効果、デモンストレーション競技のコスト等の要素を考慮して、最大二つのデモンストレーション競技の実施を検討します。

2.1.2 競技関連業務

○ 競技エントリー

- より効率的に大会運営を行うことができるようなエントリー方針を確立した上で大会 2 年前までに競技エントリーマニュアルを作成し、OCA に提出します。
 - 競技のエントリー：2025 年 1 月～3 月
 - 選手人数のエントリー：2025 年 10 月～12 月
 - 選手氏名のエントリー：2026 年 4 月～6 月

○ テクニカルハンドブック

- 大会概要や競技情報などを網羅したテクニカルハンドブックを大会 1 年前までに作成し、各国のオリンピック委員会（NOC）に配布します。
 - 大会概要：AINAGOC、開催都市、アクレディテーション、宿泊、出入国、医療サービスなど
 - 競技情報：競技日程、種目、会場、競技規則、競技エントリー、競技用備品、医療サービス、アンチ・ドーピング、表彰式など

○ 競技関連発行物

- 必要に応じて選手・チーム役員等へ配布する競技関連発行物を検討します。

2.1.3 競技用備品

○ 競技用備品リストの作成

- 競技の運営に必要な用具の種類や数量を IF/AF と協議し、競技用備品リストを作成します。

○ 競技用備品の調達

- スポンサー提供、無償レンタル、有償レンタル、購入によって効率的かつ正確に調達します。

2.1.4 表彰式

○ 表彰式の運営

- 入賞者を称えるのにふさわしい雰囲気を実施します。
- 運営要員や表彰式アシスタントなどについては事前に研修を実施し、円滑に表彰式が執り行われるようにします。
- その他、表彰台、衣装、音楽など必要な物品についても、表彰式の雰囲気に適合したものを用意します。
- 表彰式の実施内容は、OCA の承認を得るため、入賞メダルのデザインとともに大会 1 年前までに OCA に提出します。

○ 入賞メダル・賞状

- 入賞メダル、表彰状（入賞 6 位まで）など必要な物品を作成します。
- 入賞メダルについては、開催都市である愛知・名古屋を想起させるデザインを検討し、OCA の了解を得た上で、2024 年に製作を開始します。

○ プレゼンター（贈呈者）

- OCA の会長や OCA から承認を受けた人物により入賞メダルの授与を行うこととします。
- 詳細は OCA との協議により決定します。

○ 選手団旗・国歌

第2章 競技

- 表彰式には、各選手団の選手団旗及び国歌を使用します。
- 選手団旗・国歌の内容については、選手団団長会議などを通じ、誤りがないことを確認します。

○ その他物品等

- 入賞メダル・表彰状の他、開催都市である愛知・名古屋を想起させる記念品等の贈呈についても検討します。

2.1.5 医療サービス

○ 概要

- 大会における用務の遂行に必要な範囲において、大会期間中に医療サービスを提供します。

○ 実施体制

- 医療サービスの体系的な提供に向けた医事衛生実施計画やメディカルガイド等（アンチドーピング含む）を有識者及びOCAの意見を取り入れながら策定します。
- 会場近隣の医療機関及び衛生関係機関と連携を図りながら医療体制を整え、安心・安全な医療サービスを提供します。

○ 医療救護所の設置・運営

- 必要な競技会場及び非競技会場（選手団宿泊施設、メインメディアセンター及び本部ホテルなど）に医療救護所を設置し、応急処置を行います。また、必要に応じて近隣の医療機関に搬送できる体制を確保します。

○ 公衆衛生管理体制の確立

- 食中毒などの事故や集団感染の発生予防及び拡大防止のため、大会における保健衛生の基本的な対策を確立し、大会関係施設の衛生保持及び大会関係者の健康保持に努めます。

2.1.6 アンチ・ドーピング

○ 概要

- 競技会場及び選手団宿泊施設にドーピングコントロールステーション（DCS）を設置し、適切かつ円滑にドーピングコントロールを実施します。
 - 国際検査機関（ITA）や公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（JADA）等と連携

し、ドーピングコントロールの運営に必要な調整・準備を進めています。

- ・ ドーピングコントロールスタッフについては、ドーピングコントロールオフィサー（DCO）、シャペロン、管理要員などの必要な人員を確保し、ITAと連携します。

2.1.7 テストイベント

○ 概要

- 各種国際大会及び国内大会をテストイベントとして活用するなど、得られた課題や経験を活かして大会に必要な運営能力の確保を図っていきます。
- ・ 実施競技の全ての種別のテストイベントが組織される機会を確保し、国際競技連盟／アジア競技連盟／国内競技連盟（IF／AF／NF）と調整を行います。
- ・ テストイベントの実施計画を策定します。
- ・ テストイベントの開催（2025年9月～2026年6月）により、大会運営のノウハウを蓄積します。

2.1.8 スポーツプレゼンテーション

○ 概要

- 円滑な競技進行を推進するとともに、会場内の一体感を醸成し、選手がベストパフォーマンスを発揮できるよう、アナウンスや音楽などによるスポーツプレゼンテーションを実施します。
- 各会場で実施する内容や方法を検討し必要な機材、人員等を整理します。

第2章 競技

❖ ロードマップ

2.1 競技	2023年				2024年				2025年				2026年				27年
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
2.1.1 競技プログラム																	
競技			●決定					★OCA提出									
種別								★OCA提出									
種目								★OCA提出									
デイリースケジュール					競技団体へヒアリング、過去大会から競技ごとに検討、作成				★OCA提出								
セッションスケジュール					競技団体へヒアリング、過去大会から競技ごとに検討、作成				★OCA提出(ドラフト版)								
イベントスケジュール					競技団体へヒアリング、過去大会から競技ごとに検討、作成												
2.1.2 競技関連業務																	
エントリーマニュアル				検討、作成				★OCA提出									
Entry by Sports																	
Entry by Number																	
Entry by Name																	
テクニカルハンドブック・各種ガイド作成								ver.1作成				ver.2・各種ガイド作成					
2.1.3 競技用備品																	
競技用備品リストの作成				過去大会等から検討、作成													
競技用備品の調達								競技ごとに調達方法検討、調達									
2.1.4 表彰式																	
表彰式実施計画								計画策定									
入賞メダルの制作								デザイン選定				★OCA提出				管理・保管	
表彰台の制作								製造・管理方法の検討・調整								●公表	
表彰状、記念品等の製造、保管								調査・仕様決定				製造					
								検討				製造					
2.1.5 医療サービス																	
医事衛生実施計画の策定 (アンチ・ドーピングの内容を含む)				基本計画作成				実施計画策定									
メディカルガイド等の策定 (アンチ・ドーピングの内容を含む)												★OCA提出					
												メディカルガイド等検討・策定					
医療・衛生関係機関との調整								医療機関・保健所等との調整/後方支援病院の指定・調整									
医療救護所の設置・運営																設置・運営	
公衆衛生管理体制の確立								公衆衛生に係る各種対策の検討									

2.1 競技	2023年				2024年				2025年				2026年				27年
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
2.1.6 アンチ・ドーピング																	
情報収集、ITAやJADA等との連絡調整																	
必要人員の確保																	
2.1.7 テストイベント																	
テストイベント計画																	
テストイベントの実施																	
2.1.8 スポーツプレゼンテーション																	
実施内容検討・要件整理																	

2.2 式典及び文化プログラム

○ 概要

- 芸術・文化分野の専門家の意見を踏まえて計画の検討・策定を行います。

2.2.1 開会式及び閉会式

○ 概要

- 開催日：【開会式】2026年9月19日（土）
【閉会式】2026年10月4日（日）
- 会場：名古屋市瑞穂公園陸上競技場
(メインスタジアム、35,000人収容（仮設席を含む）)
- 出席者：選手・チーム役員、OCAファミリー、メディア関係者、観客等
- 実施内容：パフォーマンス及び式典

○ 制作体制

- 企画制作に当たっては、まず基本的な方針等を定める基本プランを2024年半ばまでに作成します。基本プランは大会スローガン「IMAGINE ONE ASIA」と五つのコンセプトに基づき、芸術分野の専門家を始め、スポーツ、経済界、行政関係者等、外部有識者の意見を踏まえて検討・決定を行います。
- 基本プランの作成後、式典内容、準備・運営計画等について定める実施プランを2024年末までに作成します。実施プランの作成後、演出に係る総合統括を選任した上で制作チームを編成、演出内容を検討・決定し、制作を開始します。
- 聖火台のデザインと仕様をOCAと協議の上決定し、製造を開始します。

○ 計画提出

- 開・閉会式のプログラムなどについては、OCAの承認を得るため、大会1年前までにOCAに提出します。
- 招待者についてはOCAと事前に調整を実施します。
- プログラムについては、入場行進までの待ち時間を短縮するなど、参加するアスリートの負担とならない形式で実施します。

2.2.2 入村式

○ 概要

- 会 場：名古屋コンベンションホール
- 出 席 者：各 NOC 選手団長等
- 実施内容：選手団入場、村長挨拶、記念品贈呈、芸術パフォーマンス等
 - ・ オンライン併用のハイブリッド方式での実施を検討します。

2.2.3 聖火リレー

○ 概要

- 聖火リレーは、大会本番を迎える直前に多くの人々の注目と関心を集め、大会開催の機運醸成や祝祭感を盛り上げるため実施します。
 - ・ ルート：愛知県内の各自治体及び県外の競技会場所在自治体でリレーを行う方針とし、広範囲で大会の盛り上がりにも資するルートを検討します。
 - ・ リレー実施期間：聖火の採火から大会開会式まで（採火式～2026年9月19日）
 - ・ 聖火点灯期間：大会開会式から大会閉会式まで（2026年9月19日～10月4日）
 - ・ 採火式：愛知・名古屋大会にふさわしい場所で採火式などのイベントを実施する予定です。

○ 計画提出

- 聖火リレーの計画は、OCA の承認を得るため、大会 1 年前までに OCA に提出します。

○ ランナー

- アスリートや大会関係者の他、広く一般からも募集を行うことを検討します。
- 選出された聖火ランナーについては、研修を実施し、円滑なリレーの実施を図ります。

○ トーチ

- 聖火リレーで使用するトーチのデザインについては、開催都市である愛知・名古屋を想起させるデザイン案を作成します。
- デザイン案は 2024 年 12 月を目途に OCA へ提出し、承認を受けたのちに製造を行います。

2.2.4 文化プログラム

○ 概要

- 日本、愛知・名古屋の歴史、文化芸術、自然環境、産業といった様々な資源を紹介することにより、アジア各国の人々に地域の魅力を発信します。また、アジア域内の多様な文化や価値観を共有する取組みとして、大会関係者と県民・市民が交流を深めることができるイベントや、協調的な国際関係及び友好関係の推進に貢献する文化プログラムを大会前・中・後に愛知県内の各自治体及び県外の競技会場所在自治体で、大会期間中に競技会場等で開催都市と連携して実施するよう検討します。

○ 計画提出

- 文化プログラムの計画は OCA の承認を得るため、大会 2 年前までに OCA に提出します。

○ 文化プログラムの実施

- 文化プログラムの実施場所・時期は以下のとおりとします。

実施場所	実施時期
県内各地 競技会場所在自治体	2025 年 9 月 19 日～2026 年 12 月 31 日
競技会場等	2026 年 9 月 19 日～10 月 4 日

❖ ロードマップ

2.2 式典及び文化プログラム	2023年				2024年				2025年				2026年				27年
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	
2.2.1 開会式及び閉会式																	
実施内容の検討		過去大会調査、実施内容の検討															
制作体制の構築			基本プラン、実施プランの作成、制作チームの編成														
演出内容の検討・決定・制作										★OCA提出 演出内容の検討・制作							
聖火台の作成						デザイン・仕様の検討				製造						● 聖火台点灯	
閉会式の実施																● 閉会式の実施	
2.2.2 入村式																	
入村式			検討						計画策定							● 入村式の実施	
2.2.3 聖火リレー																	
基本計画策定		自治体との調整、基本計画策定															
実施計画策定					自治体への意向調査、ルート決定等												
ランナー選定			ランナー選定方法の決定						ランナー募集								
トーチ、ユニフォームの製作						デザイン検討				製造						● 公表	
聖火リレーの実施																● 聖火リレーの実施	
2.2.4 文化プログラム																	
計画検討		自治体との調整、認証制度策定															
コンテンツの検討及び関係団体との調整						★OCA提出			コンテンツ検討及び実施の調整								
文化プログラムの実施													文化プログラムの実施				

2.3 競技大会施設

2.3.1 競技会場

○ 概要

- メインスタジアム：名古屋市瑞穂公園陸上競技場（開会式及び閉会式、陸上競技）
収容能力－30,000 席、2026 年 3 月竣工予定
- 競技会場数：55 会場
- 万全な競技会場運営に向けた準備を進めています。
- IF/AF による視察を行い、合意を得た上で、順次 OCA に報告し、承認を得ます。
- 会場決定後は IF/AF、TD と運用について調整します。
- 大会 2 年前までに競技プログラムに含めて OCA に提出します。
- 大会運営用としてトランシーバーなどの無線通信機器を活用できるよう、無線機器の周波数割当を申請します。
- 観客がスマートフォンなどの携帯端末を通じて、大会情報を入手できるようにするため、無線 LAN サービスの導入を検討します。

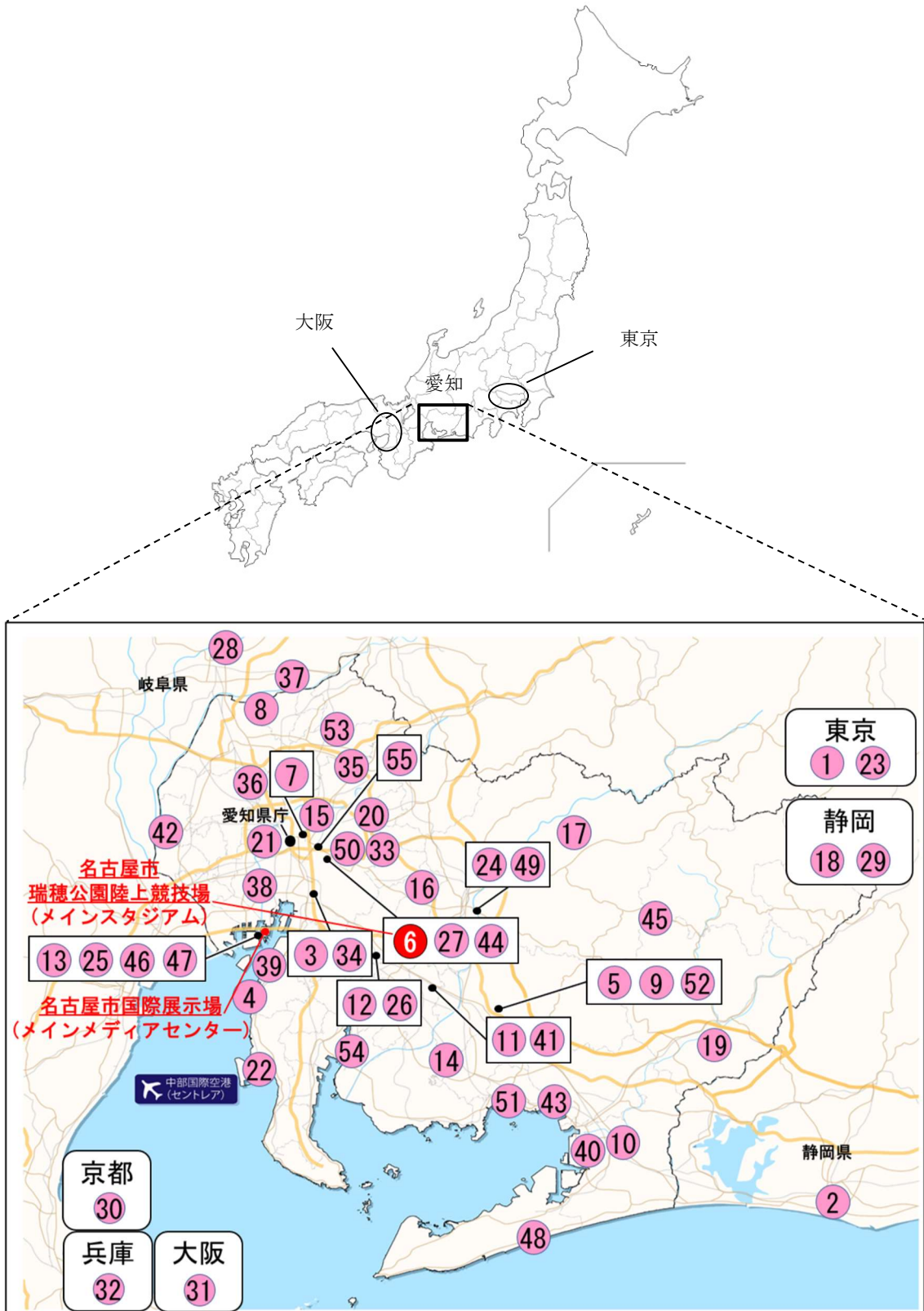
○ モデルベニューエクササイズの実施

- モデル会場で大会当日を想定した図上演習（モデルベニューエクササイズ）を実施し、その結果をまとめた、モデル会場運営計画を大会 2 年前までに作成します。

○ 会場運営マニュアルの作成

- モデル会場運営計画を参考にし、会場概要、競技概要、スケジュール、運営体制、会場レイアウト、警備計画などの各種計画を集約した会場ごとの会場運営計画を作成します。
 - Ver.1：2025 年 3 月までに作成
 - Ver.2：2026 年 8 月までに作成

○ 会場マップ



第2章 競技大会施設

○ 競技会場一覧

	競技	種別	競技会場
1	水泳	競泳／飛込	1. 東京アクアティクスセンター
		アーティスティックスイミング	2. 古橋廣之進記念浜松市総合水泳場 [ToBiO]
		水球	3. 名古屋市総合体育館 [レインボープール]
		マラソンスイミング	4. 新舞子マリナーパーク
2	アーチェリー		5. 岡崎中央総合公園多目的広場他
3	陸上競技		(トラック&フィールド)
			6. 名古屋市瑞穂公園陸上競技場
			(マラソン)
		6. 名古屋市瑞穂公園陸上競技場 (都心コース)	
		(競歩)	7. 愛知県庁・名古屋市役所周辺コース
4	バドミントン		8. 一宮市総合体育館
5	野球・ソフトボール		(野球)
			9. 岡崎中央総合公園野球場
			(野球)
		10. 豊橋市民球場	
		(ソフトボール)	11. 安城市総合運動公園ソフトボール場
6	バスケットボール	バスケットボール	12. ウィングアリーナ刈谷
		3×3	13. 金城ふ頭駅前特設コート
7	ボクシング		14. 西尾市総合体育館
8	プレイキン		15. 愛知県新体育館 [愛知国際アリーナ]
9	カヌー・カヤック	スプリント	16. 三好池
		スラローム	17. 矢作川カヌースラロームコース
10	自転車競技	トラック	18. 伊豆ベロドローム
		ロードレース	19. 新城市内発着コース
		マウンテンバイク	20. 小幡緑地
		BMXレース	21. 名古屋競輪場 BMXレースコース
		BMXフリースタイル	22. 愛知県国際展示場 [Aichi Sky Expo]
11	馬術	馬場馬術／総合馬術／障害馬術	23. JRA馬事公苑
12	Eスポーツ		22. 愛知県国際展示場 [Aichi Sky Expo]
13	フェンシング		22. 愛知県国際展示場 [Aichi Sky Expo]
14	サッカー		24. 豊田スタジアム
			25. 名古屋市港サッカー場
			26. ウェーブスタジアム刈谷
			27. 名古屋市瑞穂公園ラグビー場
			28. 長良川競技場
			29. 小笠山総合運動公園エコパスタジアム
			30. 京都府立京都スタジアム
			31. 長居陸上競技場
			32. 神戸総合運動公園 ユニバー記念競技場

第2章 競技大会施設

	競技	種別	競技会場
15	ゴルフ		33. 愛知カンツリー倶楽部東山コース
16	体操	体操/新体操/トランポリン	34. 名古屋市総合体育館 [レインボーホール]
17	ハンドボール		35. 春日井市総合体育館
			36. 豊田合成記念体育館 [エントリオ]
18	ホッケー		37. 岐阜県グリーンスタジアム
19	柔道		15. 愛知県新体育館 [愛知国際アリーナ]
20	柔術		38. 愛知県武道館
21	カバディ		39. 東海市民体育館
22	空手		40. 豊橋市総合体育館
23	クラッシュ		38. 愛知県武道館
24	近代五種		41. 安城市総合運動公園陸上競技場他
25	ローイング		42. 長良川国際レガッタコース
26	ラグビー	ラグビー7s	27. 名古屋市瑞穂公園ラグビー場
27	セーリング		43. 海陽ヨットハーバー
28	セパタクロー		44. 名古屋市瑞穂公園体育館
29	射撃		45. 愛知県総合射撃場
30	スケートボード		22. 愛知県国際展示場 [Aichi Sky Expo]
31	スポーツクライミング		46. 名古屋市国際展示場 [ポートメッセなごや]
32	スカッシュ		47. 名古屋金城ふ頭アリーナ
33	サーフィン		48. 田原市赤羽根町大石海岸 [ロングビーチ] 他
34	卓球		49. スカイホール豊田
35	テコンドー		40. 豊橋市総合体育館
36	テニス	テニス/ソフトテニス	50. 名古屋市東山公園テニスセンター
37	トライアスロン		51. 蒲郡市内特設コース
38	バレーボール	バレーボール	52. 岡崎中央総合公園総合体育館
			53. 小牧市スポーツ公園総合体育館
		ビーチバレーボール	54. 碧南緑地ビーチコート
39	ウェイトリフティング		55. 名古屋市中企業振興会館
40	レスリング	フリースタイル/グレコローマン	15. 愛知県新体育館 [愛知国際アリーナ]
41	武術太極拳		38. 愛知県武道館

1	水泳
---	----

	競技会場	1. 東京アクアティクスセンター (競泳/飛込)【東京都】
	整備方法	既存
	観客席数	約 5,000 席
	競技会場	2. 古橋廣之進記念浜松市総合水泳場[ToBio] (アーティスティックスイミング)【静岡県】
	整備方法	既存
	観客席数	約 2,200 席
	競技会場	3. 名古屋市総合体育館 [レインボープール] (水球)
	整備方法	既存
	観客席数	約 3,500 席
	競技会場	4. 新舞子マリンパーク (マラソンスイミング)
	整備方法	仮設
	観客席数	未定

2

アーチェリー

	競技会場	5. 岡崎中央総合公園多目的広場他
	整備方法	仮設
	観客席数	未定

3

陸上競技

	競技会場	6. 名古屋市瑞穂公園陸上競技場（トラック&フィールド、マラソン）
	整備方法	改築
	観客席数	約 30,000 席

©2021(株)瑞穂LOOP-PFI

画像はイメージです。デザインなどは変更になる場合があります。

	競技会場	7. 愛知県庁・名古屋市役所周辺コース（競歩）
	整備方法	仮設
	観客席数	未定

4

バドミントン

	競技会場	8. 一宮市総合体育館
	整備方法	既存
	観客席数	約 2,000 席

5

野球・ソフトボール

	競技会場	9. 岡崎中央総合公園野球場 (野球)
	整備方法	既存
	観客席数	約 20,000 席(内野：約 8,000 席、外野：約 12,000 席(芝生スタンド))
	競技会場	10. 豊橋市民球場 (野球)
	整備方法	既存
	観客席数	約 15,900 席(内野：約 8,400 席、外野：約 7,500 席(芝生スタンド))
	競技会場	11. 安城市総合運動公園ソフト ボール場 (ソフトボール)
	整備方法	既存
	観客席数	約 2,500 席(内野：約 1,000 席、外野：約 1,500 席(芝生スタンド))

6

バスケットボール

	競技会場	12. ウイングアリーナ刈谷 (バスケットボール)
	整備方法	既存
	観客席数	約 2,400 席
	競技会場	13. 金城ふ頭駅前特設コート (3×3)
	整備方法	仮設
	観客席数	未定

7

ボクシング

	競技会場	14. 西尾市総合体育館
	整備方法	既存
	観客席数	約 2,900 席

8

ブレイキン

	競技会場	15. 愛知県新体育館 [愛知国際アリーナ]
	整備方法	新築
	観客席数	最大 15,000 席

©Aichi International Arena Co.,Ltd.

画像はイメージです。デザインなどは変更になる場合があります。

9

カヌー・カヤック

	競技会場	16. 三好池 (スプリント)
	整備方法	既存
	観客席数	未定
	競技会場	17. 矢作川カヌー・スラロームコース (スラローム)
	整備方法	仮設
	観客席数	未定

10

自転車競技

	競技会場	18. 伊豆ベロドローム (トラック)【静岡県】
	整備方法	既存
	観客席数	約 1,800 席
	競技会場	19. 新城市内発着コース (ロードレース)
	整備方法	仮設
	観客席数	未定
	競技会場	20. 小幡緑地 (マウンテンバイク)
	整備方法	仮設
	観客席数	未定
	競技会場	21. 名古屋競輪場 BMX レースコース (BMXレース)
	整備方法	新築
	観客席数	未定
	競技会場	22. 愛知県国際展示場 [Aichi Sky Expo] (BMXフリースタイル)
	整備方法	既存
	観客席数	未定

11

馬術

	競技会場	23. JRA 馬事公苑 (馬場馬術・総合馬術・障害馬術)【東京都】
	整備方法	既存
	観客席数	約 1,500 席

12

Eスポーツ

	競技会場	22. 愛知県国際展示場 [Aichi Sky Expo]
	整備方法	既存
	観客席数	未定

13

フェンシング

	競技会場	22. 愛知県国際展示場 [Aichi Sky Expo]
	整備方法	既存
	観客席数	未定

14

サッカー

	競技会場	24. 豊田スタジアム
	整備方法	既存
	観客席数	約 44,400 席
	競技会場	25. 名古屋市港サッカー場
	整備方法	既存
	観客席数	約 5,400 席
	競技会場	26. ウェーブスタジアム刈谷
	整備方法	既存
	観客席数	約 2,600 席
	競技会場	27. 名古屋市瑞穂公園ラグビー場
	整備方法	既存
	観客席数	約 10,600 席

第2章 競技大会施設

	競技会場	28. 長良川競技場【岐阜県】
	整備方法	既存
	観客席数	約 16,300 席
	競技会場	29. 小笠山総合運動公園 エコパスタジアム【静岡県】
	整備方法	既存
	観客席数	約 50,900 席
	競技会場	30. 京都府立京都スタジアム 【京都府】
	整備方法	既存
	観客席数	約 21,600 席
	競技会場	31. 長居陸上競技場【大阪府】
	整備方法	既存
	観客席数	約 47,800 席
	競技会場	32. 神戸総合運動公園 ユニ バー記念競技場【兵庫県】
	整備方法	既存
	観客席数	約 45,000 席

15

ゴルフ

	競技会場	33. 愛知カンツリー倶楽部 東山コース
	整備方法	既存
	観客席数	未定

16

体操

	競技会場	34. 名古屋市総合体育館 [レインボーホール] (体操、 新体操、トランポリン)
	整備方法	既存
	観客席数	約 5,000 席

17

ハンドボール

	競技会場	35. 春日井市総合体育館
	整備方法	既存
	観客席数	約 3,000 席

	競技会場	36. 豊田合成記念体育館 [ENTRIO]
	整備方法	既存
	観客席数	約 3,000 席

18	ホッケー
----	------

	競技会場	37. 岐阜県グリーンスタジアム 【岐阜県】
	整備方法	既存
	観客席数	約 1,600 席

19	柔道
----	----

	競技会場	15. 愛知県新体育館 [愛知国際アリーナ]
	整備方法	新築
	観客席数	最大 15,000 席

©Aichi International Arena Co.,Ltd.

画像はイメージです。デザインなどは変更になる場合があります。

20

柔術

	競技会場	38. 愛知県武道館
	整備方法	既存
	観客席数	約 1,500 席

21

カバディ

	競技会場	39. 東海市民体育館
	整備方法	既存
	観客席数	約 1,300 席

22

空手

	競技会場	40. 豊橋市総合体育館
	整備方法	既存
	観客席数	約 3,000 席

23

クラッシュ



競技会場	38. 愛知県武道館
整備方法	既存
観客席数	約 1,500 席

24

近代五種



競技会場	41. 安城市総合運動公園陸上競技場他
整備方法	既存
観客席数	約 1,700 席 (陸上競技場のみ)

25

ローイング



競技会場	42. 長良川国際レガッタコース 【愛知県・岐阜県】
整備方法	既存
観客席数	未定

26

ラグビー

	競技会場	27. 名古屋市瑞穂公園ラグビー場（ラグビー7s）
	整備方法	既存
	観客席数	約 10,600 席

27

セーリング

	競技会場	43. 海陽ヨットハーバー
	整備方法	既存
	観客席数	未定

28

セパタクロー

	競技会場	44. 名古屋市瑞穂公園体育館
	整備方法	既存
	観客席数	約 1,200 席

29

射撃



競技会場	45. 愛知県総合射撃場
整備方法	一部改築
観客席数	未定

30

スケートボード



競技会場	22. 愛知県国際展示場 [Aichi Sky Expo]
整備方法	既存
観客席数	未定

31

スポーツライミング



競技会場	46. 名古屋市国際展示場 [ポートメッセなごや]
整備方法	既存
観客席数	約 5,900 席

32

スカッシュ

	競技会場	47. 名古屋金城ふ頭アリーナ
	整備方法	既存
	観客席数	約 2,600 席

33

サーフィン

	競技会場	48. 田原市赤羽根町大石海岸 〔ロングビーチ〕他
	整備方法	仮設
	観客席数	未定

34

卓球

	競技会場	49. スカイホール豊田
	整備方法	既存
	観客席数	約 4,400 席

35

テコンドー



競技会場	40. 豊橋市総合体育館
整備方法	既存
観客席数	約 3,000 席

36

テニス



競技会場	50. 名古屋市東山公園テニスセンター（テニス、ソフトテニス）
整備方法	一部改築
観客席数	約 4,000 席

37

トライアスロン



競技会場	51. 蒲郡市内特設コース
整備方法	仮設
観客席数	未定

38

バレーボール

	競技会場	52. 岡崎中央総合公園総合体育館（バレーボール）
	整備方法	既存
	観客席数	約 4,900 席
	競技会場	53. 小牧市スポーツ公園総合体育館（バレーボール）
	整備方法	既存
	観客席数	約 3,000 席
	競技会場	54. 碧南緑地ビーチコート（ビーチバレーボール）
	整備方法	仮設
	観客席数	未定

39

ウェイトリフティング

	競技会場	55. 名古屋市中小企業振興会館
	整備方法	既存
	観客席数	未定

40

レスリング

	競技会場	15. 愛知県新体育館 [愛知国際アリーナ]
	整備方法	新築
	観客席数	最大 15,000 席

©Aichi International Arena Co.,Ltd.

画像はイメージです。デザインなどは変更になる場合があります。

41

武術太極拳

	競技会場	38. 愛知県武道館
	整備方法	既存
	観客席数	約 1,500 席

❖ ロードマップ

2.3 競技大会施設	2023年				2024年				2025年				2026年				27年
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
2.3.1 競技会場																	
IF/AFとの調整、競技会場合意	[Blue bar]																
競技会場の承認	IF/AF合意後、順次OCAに報告・承認																
IF/AF、TDとの調整									★OCA提出 会場決定後、IF/AF、TDと運用について調整								
モデルメニューエクササイズの実施	[Blue bar]																
会場運営マニュアルの作成									ver.1				ver.2				

2.4 宿泊

2.4.1 選手団宿泊施設

○ 概要

- 選手団宿泊施設は、従来の大会のように新たに整備するのではなく、複数の既存の宿泊施設を活用し、必要な機能・サービスを提供します。
- 選手団宿泊施設として必要な機能・サービスについては、既存の宿泊施設の活用等により確保します。
- 競技会場との位置関係等を勘案し、快適な選手団宿泊施設を提供します。
- 同一の競技参加選手・チーム役員に対しては同一水準の滞在環境（機能・サービス）を提供します。
- 業界団体や旅行会社などと連携して宿泊施設を確保するとともに、選手・チーム役員を受け入れる体制や宿泊管理システムを構築します。

○ 収容人数

- 選手・チーム役員最大 15,000 人のために選手団宿泊施設を適切に提供します。
- 最終的な確保数等については、今後、OCA との協議により、決定します。

○ 運営

- 選手団宿泊施設では、客室の他、輸送、警備、飲食、医療、インフォメーションデスク、ランドリー、フィットネス、ラウンジ等の選手団サービスを提供します。
- 選手・チーム役員は、原則として競技ごとに宿泊施設を割り当てますが、選手団規模が小さく、選手団スタッフの分散が困難な場合などは選手団ごとに配宿することを含め、柔軟に対応します。 ※過去大会における選手団規模や参加競技などにより判断
- NOC による各 NF のサポートがスムーズに行えるよう、各宿泊施設に Wi-Fi を完備し、オンラインミーティングの環境を整えます。
- 宿泊施設内の客室及び諸室の割り当ては政治的、文化的、宗教的な特徴等に配慮します。
- 大会関係エリアの入口にセキュリティチェックポイントを設け、アクレディテーションカードチェックにより関係者以外の入場を防止するとともに、身体検査や手荷物検査により危険物の持ち込みを防止します。
- 食文化や宗教に配慮するとともに、アスリートに必要な栄養摂取に配慮した食事を提供します。
- 大会開催に向けて、運営に関する計画やマニュアルを作成するとともに、運営に関する試行やトレーニングを行います。

○ 選手団サービスセンターの運営

- 選手団長・選手団役員の宿泊施設、選手団長会議室、選手団サービスセンター及び選手団オフィスの提供などの選手団サービスは、交通の利便性の高い施設において、集中的に提供します。

○ 選手間交流等

- 県内にあるシンボリックな施設に、選手・関係者のみが入場可能な特設交流エリアを設置します。
- 県内の様々な地域で、選手や来訪者等に対するホスピタリティ溢れる対応を検討します。

2.4.2 大会関係者（選手・チーム役員以外）⁴宿泊施設

○ 概要

- 大会関係者に対し、必要な大会サービスが確保された適切な宿泊施設を提供します。
- 業界団体や旅行会社などと連携して宿泊施設を確保するとともに、大会関係者を受け入れる体制や宿泊管理システムを構築します。
- 宿泊施設では、宿泊者に対して必要な情報を伝える体制を構築します。

○ 宿泊対象者

- OCA ファミリー
 - 大会公式ホテルに必要な機能を考慮し、宿泊施設を用意します。
 - 大会公式ホテルの一つを本部ホテルとし、必要な諸室を設置します。また、本部ホテルあるいは本部ホテルに近接したホテルにおいて、各種会議を開催できる体制を整えます。
 - OCA ファミリーのため、最低限 2,000 室を提供します。また、無料で提供される者の範囲は、OCA との協議により、決定します。
 - なお、OCA ファミリーの宿泊者数については、大会 1 年前までに OCA から提供されるものとします。
- IF/AF
 - 認定を受けた IF 及び AF の技術に関する代表者その他代表者のため、無料で最大 350 室を確保します。
 - なお、予想される上記の宿泊者数については、大会 1 年前までに OCA から提供されるものとします。

⁴ 大会関係者（選手・チーム役員以外） OCA ファミリー/競技大会役員/メディア等

第2章 宿泊

- メディア
 - ・ 「OCA ガイドライン：放送」に従い、全ての認定を受けたメディアのため、最低限 3,000 人を収容できる適切な宿泊施設を有料で提供します。
 - ・ なお、予想される上記の宿泊者数については、大会 1 年前までに OCA から提供されるものとする。

○ 運営

- 過去大会等を参考に、関係者ごとに必要な機能を備えた宿泊施設を選定し、サービスを提供します。

❖ ロードマップ

2.4 宿泊	2023年				2024年				2025年				2026年				27年
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
2.4.1 選手団宿泊施設																	
使用宿泊施設の検討調整																	
宿泊施設との交渉、契約締結																	
宿泊管理体制の構築																	
諸機能・運営の検討																	
運営マニュアル作成																	
運営試行・トレーニング																	
2.4.2 大会関係者（選手・チーム役員以外）宿泊施設																	
使用宿泊施設の検討調整																	
宿泊施設との交渉、契約締結																	
宿泊管理体制の構築																	
ステークホルダーごとに合わせた諸機能・運営の検討																	

2.5 競技大会要員

○ 概要

- 大会の準備・運営に必要な組織体制の構築、専門人材等の確保、職員への研修等を行います。
- 大会を盛り上げるために不可欠なボランティアやユニフォームについて検討・実施していきます。

2.5.1 組織・人材

○ 組織体制・人員

- 人員計画
 - 必要人員を踏まえた人員計画を策定し、大会開催に向けて組織体制を強化します。
 - 大会計画の進捗に伴い、随時更新していきます。
- 大会開催時体制計画
 - 大会開催時の競技会場を中心とした組織体制や必要人員を踏まえた大会開催時体制計画を策定します。
 - 大会計画の進捗に伴い、随時更新していきます。

2.5.2 人材の採用・確保

○ 専門人材等の採用

- 専門知識を持つ民間人材の重点的な採用
 - 専門性の高い分野については、重点的に確保することとし、東京 2020 オリンピック競技大会の業務経験者などの人材を積極的に採用していきます。
- 競技運営要員の計画的な採用
 - 競技団体等からの推薦を受けた者を競技運営要員として計画的に採用していきます。

○ 大会開催時の人材の確保

- 大会短期人材の確保
 - 通訳など他の要員が提供できない専門知識やスキルを要する分野の業務については、関係機関等へ依頼や委託等により短期的な専門人材を確保していきます。
 - ボランティアを割り当てられない分野には愛知県・名古屋市などの関係機関により、人材の確保をしていきます。

2.5.3 ボランティア

○ ボランティア計画の策定

- ボランティア運営基本計画
 - ボランティア想定人数…28,000人
 - 全体スケジュールの作成、活動内容及びポスト数の精査、活動条件（年齢要件、語学要件、活動日数、1日あたりの活動時間等）や待遇（ユニフォーム、ボランティア保険、食事等）の整理を行います。
- ボランティア配置計画
 - 各FAの必要ボランティア数や役割、必要スキルについて、調整（Ver.1）し、募集前（Ver.2）やボランティア採用決定後（Ver.3）に更新していきます。

○ ボランティアの募集及び選考

- 募集に向けた機運醸成イベントを実施します。
- 広報活動を強化して優秀な人材を募集します。
 - チラシやインターネット（SNS等）、イベントなどの各種PRメディアを積極的に活用します。
 - 大学、ボランティア団体、市民団体及び企業と調整・連携し、募集を促進します。
- 採用イベントを実施し、ボランティアの選考をします。
 - 活動概要説明を行って、大会の知識を深めてもらったり、グループワークを行い、適性を審査したりします。

○ ボランティア登録システム

- ボランティア登録システムを外部に発注し、ボランティア登録情報を基にアクセシビリティカードを発行します。

2.5.4 教育・研修

○ 職員の研修

- 大会の準備・運営に必要な専門知識やスキルを職員が習得できるように適切な研修を実施します。
 - 全体研修、階層別研修、部門別研修等を実施します。

○ ボランティアの研修

- 共通研修：E-ラーニングで共通の知識や留意事項、障害者等への接遇及びアウェアネス等

について研修を実施します。

- リーダー研修：リーダーとなる方に、リーダーの心得や求められる役割、活動における留意点について研修を実施します。
- 役割別研修：各役割に合わせて活動内容や、当日の動きとイメージ、留意点について研修を実施します。
- 会場別研修：会場の各施設の案内やその会場で実施する競技の概要、避難経路等について研修を実施します。

○ 技術スタッフの研修

- 共通研修：E-ラーニングで共通の知識や留意事項、障害者等への接遇及びアウェアネス等について研修を実施します。
- 役割別研修：各役割に合わせて活動内容や、当日の動きとイメージ、留意点について研修を実施します。
- 会場別研修：各会場で実施する競技の運営概要や、活動における留意点について研修を実施します。

2.5.5 ユニフォーム

○ デザインの作成

- ガイドラインに沿ってデザインを作成し、OCA 承認を得たものでユニフォームを作成します。

○ 調達・配布計画

- ユニフォーム数の調整をおこない、調達・配布します。

第2章 競技大会要員

❖ ロードマップ

2.5 競技大会要員	2023年				2024年				2025年				2026年				27年
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
2.5.1 組織・人員																	
人員計画	[Blue bar spanning Q1 2023 to Q4 2026]																
大会開催時体制計画	[Blue bar spanning Q1 2023 to Q4 2026]																
2.5.2 人材の採用・確保・研修																	
専門人材等の採用	[Blue bar spanning Q1 2023 to Q4 2026]																
競技運営要員の登用																	
大会短期要員の確保																	
2.5.3 ボランティア																	
ボランティア運営基本計画																	
ボランティア配置計画																	
機運醸成イベント																	
広報活動																	
関係団体調整・連携																	
募集・採用イベント																	
ボランティア登録システム																	
2.5.4 教育・研修																	
職員の研修	[Blue bar spanning Q1 2023 to Q4 2026]																
ボランティアの研修																	
技術スタッフの研修																	
2.5.5 ユニフォーム																	
デザイン作成																	
調達・配布計画																	

2.6 競技大会の物品

2.6.1 調達

○ 概要

- 大会の開催に必要な物品等を調達します。
 - 大会運営に必要な物品等の種類や数量を把握するため、調達計画を作成し、更新します。
 - 調達計画を踏まえ、必要な物品等を適切な時期に調達します。
 - 大会終了後に不要となった物品を適切な方法で処分します。

2.6.2 レートカード

○ 概要

- 選手、メディア関係者等が大会期間中に使用する物品及びサービスをレンタル等で提供します。
 - 物品及びサービスをまとめたレートカードカタログを作成し、2025 年 3 月までに OCA に提出します。
 - 各国ステークホルダー代表者から注文を受けるための専用ポータルを 2025 年 6 月までに稼働します。

2.6.3 通関（税関）

○ 通関

- 日本国の法令に基づく通関手続を実施します。
- 選手・チーム役員、審判員等が使用する大会関連物資及び機材並びにメディアの使用する物資及び機材等に係る通関手続の合理化、迅速化について、関係機関に協力を要請します。
- 銃、弾薬等の特別な品目及び馬術競技のための馬の容易かつ迅速な輸出入のために必要な措置について関係機関と協議します。
- 通関・フォワーディングガイドを作成し、関係者に配付します。

第2章 競技大会の物品

○ 関税

- 関係機関に対して、必要な器材や用具が現行の法令の範囲において、必要な手順の上で、関税の支払いが免除となるよう働きかけます。

❖ ロードマップ

2.6 競技大会の物品	2023年				2024年				2025年				2026年				27年
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
2.6.1 調達																	
調達計画			計画作成	●			計画更新・精査	●				計画更新・精査	●				
物品役務等の調達																	
処分																	
2.6.2 レートカード																	
レートカードカタログ			品目	運用検討			OCA提出	SH提示	更新	調達	提供						
システム運用・実施					要件定義	開発&テスト	稼働	●									
2.6.3 通関（税関）																	
通関手続きに関する情報収集と関係省庁への調整							関係省庁との調整										
通関・フォワーディングガイドの作成・発行														ガイド発行			

2.7 輸送

○ 概要

- 大会関係者に対し、円滑な輸送サービスを提供します。
- 円滑な輸送サービスの提供に向けて、交通事業者など各関係機関とも協働し、輸送計画の検討・策定を行います。
- 運転要員や車両及び車両待機場の確保に向けて、交通事業者等の各関係機関と協力体制を構築します。

2.7.1 輸送実施体制

- 交通事故等、不測の事態においても、遅滞なく各会場に到着できるよう適切に対応できる体制を構築します。
- 輸送サービス提供期間において、輸送全体の判断及び輸送に関する各種サービスの手配管理を行う輸送本部を設置し、各会場等との連絡・調整を行い、円滑な輸送サービスを提供します。
- 交通事業者等の各関係機関と協力体制を構築し、適切な輸送サービスの提供を実施します。
- 大会関連施設周辺の交通の特性を踏まえ、大会に係る円滑な輸送の実現と都市活動の安定が図られるよう、自家用車利用の抑制や会場周辺の通行を控えるよう広報を行う等の交通需要抑制対策を計画します。

2.7.2 到着/出発時の輸送

- 大会関係者の出入国時に大会公式空港（中部国際空港を想定）と宿泊施設との間を移動するための適切な輸送サービスを提供します。

2.7.3 開会式及び閉会式時の輸送

- 開会式及び閉会式時には、多くの関係者バスが来場するため、交通規制の実施などについて関係機関と協議・調整し、円滑な輸送を実現します。

2.7.4 競技時の輸送

○ 選手・チーム役員

- 選手・チーム役員の宿泊施設を起点として、競技日程及び練習日程に従い、各競技会場、練習会場間を専用バスで移動できる輸送サービスを提供します。
- 個人競技については、あらかじめ計画された時刻に出発するシャトルバスサービスを提供します。
- 団体競技については、競技会場・練習会場への移動のために、各チームにバスを提供します。

○ OCA ファミリー

- OCA ファミリーに対しては、各々のアクレディテーションカードに示された輸送コードに従い輸送サービスを提供します。
- T 1 — 運転手付きの、専用の乗用車による輸送サービス
- T 2 — 運転手付きの、複数名で共用する乗用車による輸送サービス
- T 3 — 大会関係の拠点間を移動できる、共用の乗用車による輸送サービス

○ 競技大会役員

- 競技大会役員の宿泊施設を起点として、競技日程に従い、各競技会場へ移動するための輸送サービスを提供します。

○ メディア

- メインメディアセンター、メディア関係者宿泊施設、競技会場間を移動できる輸送サービスを提供します。

○ 観客

- 観客の来場は公共交通機関を基本とし、必要に応じ最寄駅と競技会場を結ぶシャトルバス等の輸送サービスも検討します。

2.7.5 輸送計画の策定

- 輸送経路等について定めた輸送計画を策定し、大会2年前までにOCAに提出します。

❖ ロードマップ

2.7 輸送	2023年				2024年				2025年				2026年				27年	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	
2.7.1 輸送実施体制																		
実施体制の検討	■																	
輸送本部運用準備・設置								■										
輸送サービスレベルの調整			■						各SHとの調整				■					
運転要員及び車両確保のための事業者との調整・確保	■								車両・運転要員調達				要員研修					
交通需要抑制対策							抑制方法・広報内容検討				輸送広報実施							
2.7.2 到着/出発時の輸送																		
到着/出発時の輸送の検討	■								■									
運用準備										■								
2.7.3 開会式及び閉会式時の輸送																		
開会式及び閉会式時の輸送の検討	■								■									
運用準備												■						
2.7.4 競技時の輸送																		
競技時の輸送の検討	■								■									
運用準備											■							
2.7.5 輸送計画の策定																		
運営計画の検討	■								輸送経路等の検討				OCA提出					
運営にかかる調整														道路工事・交通規制調整				

2.8 情報技術

2.8.1 アジア競技大会情報システム（AGIS）

- 競技大会の運営を支援する「大会管理システム（GMS）」や競技結果の収集・管理を行う「大会結果システム（GRS）」、パソコンやスマートフォンなどの媒体に競技結果を配信するためのシステム「情報配信」、監視など大会システムの正常稼働を支える「大会支援システム」で構成する AGIS を開発・運用します。
- AGIS の構築・運用に必要な施設の設置、クラウドやハードウェアを準備します。
- 「OCA ガイドライン：情報及び技術」を踏まえ、「情報システムに関する提案（開発・運用方針）」を作成し、OCA に提示します。



5

2.8.2 電気通信サービス

- AGIS の運用を滞りなく行うため、安定した通信が確保できるようネットワーク環境を整備し、併せて必要な電力を確保します。
- 外部からの攻撃や侵入など情報セキュリティ上のリスクに備えて必要な対策を講じます。

⁵ IIS (Internet Interface System) インターネット向けの情報配信システム。Games INFO (INFO/MY INFO) は大会関係者向けの情報配信システムのこと。

2.8.3 気象情報

- 大会運営の安全性確保や選手の戦略策定に資するため、気温や降水量等の気象情報を入手し、AGIS を通じて大会関係者や観客に提供します。

2.8.4 計時計測及び掲示板

- 競技要件定義書（SRB）の作成やシステム検証を実施し、正確に計時・計測する「計時計測システム（T&S）や、競技結果に関する情報を集約して正しい結果を配信する「リザルトシステム（VRS）」を運営します。
- 円滑な競技運営のために必要な掲示板（SSCB）を設置します。

❖ ロードマップ

2.8 情報技術	2023年				2024年				2025年				2026年				27年
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
2.8.1 アジア競技大会情報システム																	
大会システム要件定義		■	■	■													
大会システム設計・開発					■	■	■	■	■	■	■	■					
大会システム運用									■	■	■	■	■	■	■	■	
クラウド									■	■	■	■	■	■	■	■	
ハードウェア									■	■	■	■	■	■	■	■	
情報システムに関する提案（開発・運用方針）					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
2.8.2 電気通信サービス																	
通信ネットワーク概略計画	■	■															
通信ネットワーク設計・構築					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
通信ネットワーク運用													■	■	■	■	
セキュリティ対策													■	■	■	■	
2.8.3 気象情報																	
提供体制の検討・実施					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
2.8.4 計時計測及び掲示板																	
競技要件定義書（SRB）					■	■	■	■	■	■	■	■					
システムの検証													■	■	■	■	

2.9 メディア

2.9.1 メインメディアセンター（MMC）

- 国際放送センター（IBC）とメインプレスセンター（MPC）を統合した一体的な施設として MMC を設置します。
- 設置場所：名古屋市国際展示場（第3展示館、コンベンションセンター、交流センター）

2.9.2 放送

○ 概要

- アジア競技大会の感動や素晴らしさを伝えられるよう、国際映像制作体制を構築し、世界各国に向けて大会の様子を配信するための国際映像・音声を制作・配信します。
- 放送権者のニーズと過去大会の放送実績を踏まえた生中継の実施を検討します。

○ 国際映像制作体制の構築

- 特定の国・地域に偏らないマルチラテラルな映像・音声を制作する国際映像制作体制の構築に向けて、撮影対象となる会場の調査、過去大会における映像・音声制作に係る実績調査などを行います。

○ 国際放送センター（IBC）の運営

- 国際映像の分配及び配信、放送権者が制作する国・地域に特化した（ユニラテラル）映像・音声の制作及び本国への伝送支援などを行う IBC を運営します。

○ 世界放送者会議（World Broadcaster Meeting）

- 大会1年前及び大会6か月前を目処に放送権者を対象に世界放送者会議を開催します。
- メディアサービスの内容の紹介や MMC 設置予定地、競技会場の見学などのベニューツアーを実施します。
- 放送権者からの要望や意見を収集し、大会準備に活用します。

○ ITA 監査（Independent Television Auditor Audit）

- 2024年から2026年に ITA 監査を受けます。

2.9.3 報道（新聞・雑誌・テレビ・インターネットメディア等）

○ 概要

- 国内外の記者に対し、必要なサービスを提供し、報道活動における利便性の向上を図ります。
- 専門的な立場から各種アドバイスなどを行う報道分野の専門家と協働しながら、メディアサービスを検討します。

○ MMC におけるプレスオペレーション

- 概要
 - ・ MMC に MPC を設置し、報道活動を支援します。
- 提供サービス
 - ・ 過去大会や類似大会を参考に、報道関係者のニーズを勘案し、必要な施設を用意します。
 - ・ 設置想定施設…プレスワークスペース、フォトワークスペース、記者会見場、
各報道機関のオフィス、メディアラウンジ、インフォメーションデスクなど
 - ・ 各施設において、電源、通信環境など作業のために必要な機能を提供します。

○ 競技会場におけるプレスオペレーション

- 概要
 - ・ 各競技会場にサブプレスセンター（SPC）を設置し、報道活動を支援します。
- 提供サービス
 - ・ 過去大会や類似大会を参考に、競技会場の規模やメディアのニーズを勘案し、必要な施設を提供します。
 - ・ 設置想定施設…ワークスペース、記者会見場、ミックスゾーン⁶など
 - ・ 記者会見場については、会場ごとに必要性を検討の上、設置の有無を決定します。
 - ・ 各施設において、電源、通信環境など作業のために必要な機能を提供します。

○ 世界報道会議（World Press Briefing）

- 大会 1 年前及び大会 6 か月前を目処に、世界各国の報道関係者を集め、世界報道会議を開催します。
- メディアサービスの内容の紹介や MMC 設置予定地、競技会場の見学などを行うベニューツアーを実施します。
- 報道関係者からの要望や意見を収集し、大会準備に活用します。

⁶ ミックスゾーン メディアが競技を終えた選手にインタビューをすることができる、競技会場に用意された取材場所のこと。

2.9.4 メディアサービス

○ 情報提供

- 競技情報：競技日程、スタートリスト、競技結果等の情報を提供します。
- プレスリリース：競技情報以外の大会情報、OCA や AINAGOC などからの情報を提供します。
- 情報については、大会ウェブサイト、エクストラネット⁷、INFO/MY INFO⁸、プレスハンドブックなどの手段により速やかに提供します。

○ 言語サービス

- MMC や競技会場などにおいて、言語サービスを提供します。
- 対応言語については、メディアのニーズを踏まえ、検討します。

❖ ロードマップ

2.9 メディア	2023年				2024年				2025年				2026年				27年
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
2.9.1 メインメディアセンター (MMC)																	
基本計画	■																
基本設計		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■					
実施設計									■	■	■	■	■	■	■	■	
機器製作・施工・維持管理									■	■	■	■	■	■	■	■	
撤去・現状復旧																	■

⁷ エクストラネット 大会開催前より、メディアサービスの内容や取材環境についてメディア向けに発信するためのウェブサイトのこと。

⁸ INFO/MY INFO 大会期間中に、競技に関する情報やメディアサービスに関する情報をメディア向けに発信するためのシステムのこと。

2.9 メディア	2023年				2024年				2025年				2026年				27年
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
2.9.2 放送																	
国際映像制作体制の検討	■				■				■								
国際映像制作体制の構築								■	■								
IBCの施工（HB工事部分）・運営																■	●
世界放送者会議（WBM）開催準備・運営体制 検討・開催		★			■						第1回 ★		第2回 ★				
ITA監査				WG ★	第1回 ★				第2回 ★		第3回 ★		第4回 ★		第5回 ★		
2.9.3 報道																	
MMCプレスオペレーション基本計画の作成	■				■				■								
MMCプレスオペレーション実施計画の作成								■	■								
MMCプレスオペレーションマニュアルの作成												■	■				
MMCプレスオペレーションの実施																■	■
ベニュープレスオペレーション基本計画の作成	■				■				■								
ベニュープレスオペレーション実施計画の作成								■	■								
ベニュープレスオペレーションマニュアルの作成												■	■				
ベニュープレスオペレーションの実施																■	■
世界報道会議（WPB）開催準備・開催		★			■						第1回開催 ★		第2回開催 ★				
2.9.4 メディアサービス																	
エクストラネットに関する検討	■				■				■								
エクストラネットに関する設計・開発												公開 ●	■				
エクストラネットの運用												■	■				
競技に関する情報発信に関する検討（my info）	■				■				■								
競技に関する情報発信に関する設計・開発（my info）								■	■								
競技に関する情報発信に関する情報提供（my info）																■	■
プレスハンドブックの作成								■	■				第1版 ●			最終版 ●	
プレスリリース	■				■				■				■				
言語サービスの検討、提供				■	■				■				■				

2.10 国際関係

2.10.1 OCAとの協力

- OCA 総会等 OCA が主催する国際会議に必要な応じて出席し、開催準備の進捗を報告します。
- OCAとAINAGOC 間の連絡体制を確立します。
- 2.10.3 に掲げる各種 OCA の会議（OCA 総会、OCA 理事会など）を手配することに協力します。

2.10.2 NOCとの協力

- 各国の担当者を準備段階に応じて配置し、ネットワークを構築し、NOC へ大会に関する情報の提供、課題解決のサポートなどの、必要な調整等を行います。
- 言語文化や習慣を含め OCA 加盟団体について理解を深めます。
- OCA 総会等を通じて、NOC への情報発信や情報収集に努めます。NOC 選手団長会議等の機会を通じて、NOC への情報提供を行います。

2.10.3 会議

○ OCA 理事会

- 日 程：大会前年から大会期間終了までの間
- 出席者：OCA 理事等
- 開催地：AINAGOC が用意する場所

○ OCA 総会

- 日 程：大会前年
- 出席者：OCA 会員等
- 開催地：AINAGOC が用意する場所

○ OCA 医事委員会及びアンチ・ドーピング委員会、その他 OCA の会議

- 日 程：大会期間終了までの間（必要に応じて）
- 出席者：委員会委員等
- 開催地：AINAGOC が用意する場所

- NOC 選手団長セミナー
 - 日 程：大会前年
 - 出席者：参加 NOC の選手団長等
 - 開催地：AINAGOC が用意する場所

- NOC 選手団長会議
 - 日 程：大会期間中
 - 出席者：参加 NOC の選手団長
 - 開催地：選手団長会議室

- 調整委員会及びフォローアップ・チームの会議
 - 日 程：大会期間終了までの間
 - 出席者：調整委員会委員等
 - 開催地：AINAGOC が用意する場所

- Pre-DRM⁹、DRM
 - 日 程：大会数か月前、大会直前
 - 出席者：参加 NOC の選手団長等
 - 開催地：AINAGOC が用意する場所

⁹ DRM (Delegation Registration Meeting) 大会に参加する選手・チーム役員の人数や氏名、競技種目への参加資格等について、NOCとAINAGOCが合意する場のこと。

第2章 国際関係

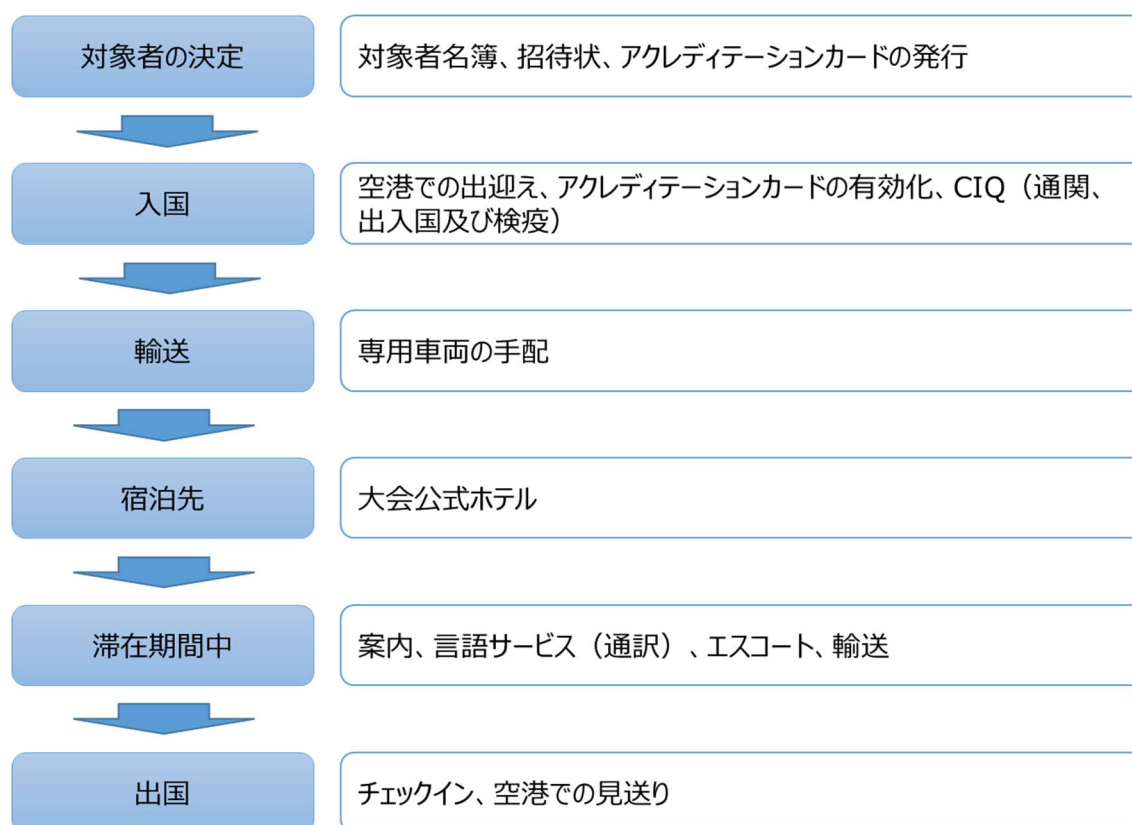
❖ ロードマップ

2.10 国際関係	2023年				2024年				2025年				2026年				27年
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
2.10.1 OCAとの協力																	
OCA総会等国際会議への出席	■																
進捗報告（2年前まで；随時報告）		■				■											
進捗報告（2年前以降；四半期毎）									■	■	■	■	■	■	■	■	■
連絡体制の確立（渉外部門の設置・拡充）		■				■				■				■			
連絡体制の確立（人材育成、連携強化）	■																
各種OCA会議への協力	■																
2.10.2 NOCとの協力																	
各国NOC担当者の配置（渉外部門の設置・拡充）		■				■				■				■			
国際理解（言語文化・習俗習慣）	■																
NOCへの情報発信・情報収集			■			■							■ NOCnetでの発信				
2.10.3 会議																	
OCA理事会												■ ★				■ ★	
OCA総会												■ ★					
OCA医事委員会、アンチ・ドーピング委員会 その他OCA会議						■ 必要に応じて開催											
NOC選手団長セミナー												■					
NOC選手団長会議																■	■
調整委員会及びフォローアップ・チーム会議					■ 必要に応じて開催												
Pre-DRM、DRM																■ Pre-DRM	■ DRM

2.11 プロトコル

○ 概要

- 国内外の招待客を決定し、OCAとの協議の上、公式招待状を送付します。
- 国際儀礼の対象者に対して、入国時から出国時まで国際的な基本儀礼、マナーに基づいた接遇を行います。
- 宿泊、輸送及び式典の各専門部門と国際儀礼を統括する専門部門が緊密に連携することにより国際儀礼サービスを円滑に実施します。



2.11.1 場所別プロトコル

○ 大会公式空港（中部国際空港を想定）

- 出迎えや見送り、エスコートなどのサービスを提供します。
- CIQ（通関、出入国及び検疫）を速やかに通過できるよう関係機関と調整し、対応します。

第2章 プロトコル

○ 大会公式ホテル

- OCA ファミリーのために適切なホテルを選定し配宿します。
- インフォメーションデスクを設置し、専用車両の利用申し込みなどを受け付けます。
- OCA ファミリー向けの親睦・交流プログラムを行います。
- 各々の認定に応じたプロトコルサービスを提供するものとし、その内容は今後検討します。

○ 開会式及び閉会式

- 円滑な入退場とセキュリティを両立するための出入口や動線、駐車場を設けます。
- VIP エリア、VIP ラウンジ、ファミリーエリア、ファミリーラウンジを設けます。

○ 競技会場

- 円滑な入退場とセキュリティを両立するための出入口や動線、駐車場を設けます。
- 競技情報の提供や、専用車両の利用申し込みなどを受け付けます。
- ファミリーエリア、ファミリーラウンジを設け、軽食を提供します。

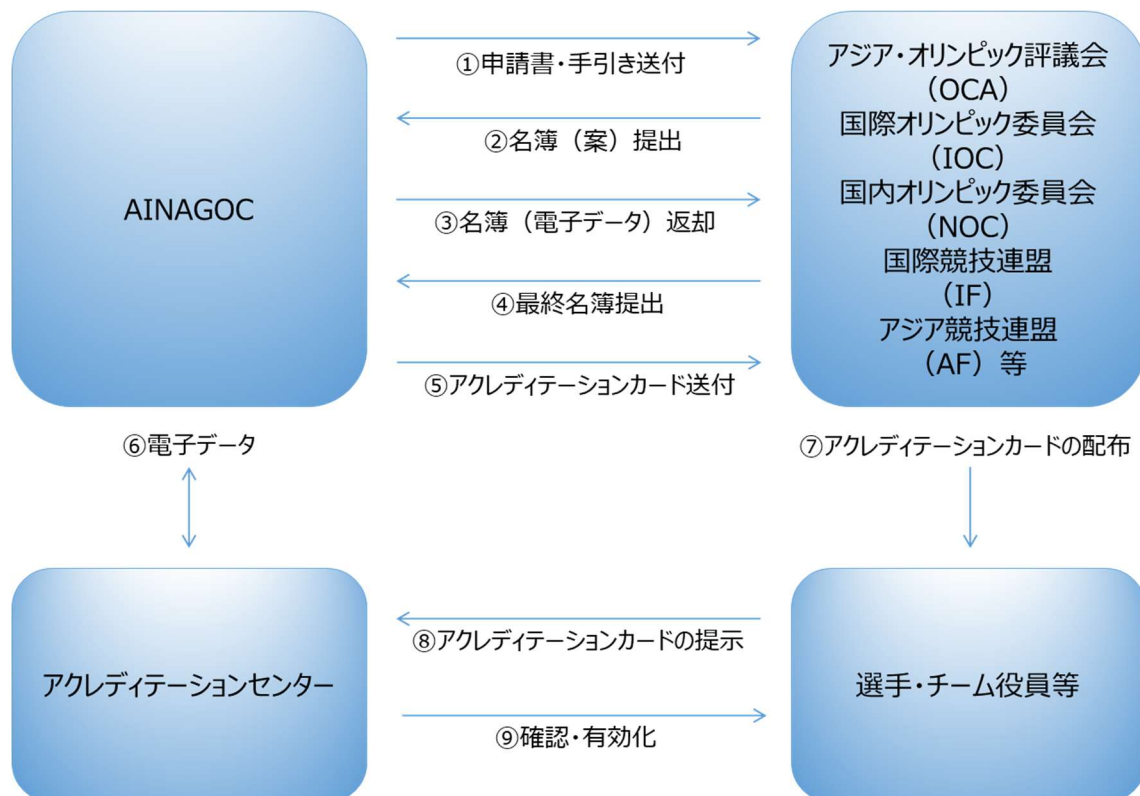
❖ ロードマップ

2.11 プロトコル	2023年				2024年				2025年				2026年				27年
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
2.11.1 場所別プロトコル																	
プロトコルの検討																	

2.12 アクレディテーション

○ 概要

- 適切な資格を有する大会関係者のみが、適正な方法で大会関係施設内の必要なゾーンにアクセスできるよう管理を行い、大会運営において必要な役割を効率的かつ安全に果たせる仕組みを提供します。



2.12.1 アクレディテーションのカテゴリー設定

- OCA 憲章に示されたアクレディテーションカテゴリーを基にして、所属団体や大会での職務などに応じてアクセスできる施設やゾーンを体系的にカテゴリー分けします。
- 業務の遂行等のため臨時にアクセス権が必要となったものに対して、「ゲストパス」や「デイパス」「アップグレードカード」など臨時パスを発行できる体制を整えます。

第2章 アクレディテーション

2.12.2 入国手続とアクレディテーション

- 大会関係者の円滑な入国に資するため、アクレディテーションカードへの身分証明（ID）機能と査証の一時免除機能の付与について、関係省庁と協議します。

2.12.3 アクレディテーションセンター

- アクレディテーションカードの有効化や有効化後のアクレディテーションカードの再発行などの手続を行うアクレディテーションセンターを AINAGOC が指定する空港や MMC などの必要な施設に設置します。
- アクレディテーションカードの申請について、2025 年第4四半期以降に案内の送付及び受付などを行います。

❖ ロードマップ

2.12 アクレディテーション	2023年				2024年				2025年				2026年				27年
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
2.12.1 アクレディテーションの 카테고리 設定																	
アクレディテーションカテゴリー・臨時パス等の検討（ACRガイドライン）	基本計画作成				ガイドライン作成				★ OCA提出								
2.12.2 入国手続とアクレディテーション																	
入国手続等に関する関係省庁協議	外務省・入管庁協議				● 関係省庁へ正式依頼文提出												
2.12.3 アクレディテーションセンター																	
アクレディテーションセンターの検討・調整					設置場所・仕様検討				運営マニュアル作成								
アクレディテーションカード申請受付・送付（ACRシステム稼働）													システム登録 印刷・配布				

2.13 警備

○ 概要

- 日本における治安状況、国際的な安全保障状況を踏まえ、適切な警備ガイドライン・警備計画（以下「警備ガイドライン等」という。）を策定します。
- 警備ガイドライン等の策定にあたっては、警察・消防など各種関係機関と調整し、検討を行います。
- 警備ガイドライン等に基づき、警備員及び警備機器の確保を進めます。

2.13.1 実施体制

- 大会の実施時には警備に関する統括本部を設けるとともに、各競技会場を始めとする大会関係施設ごとに、現地拠点の設置を検討します。
- 競技会場、輸送、プロトコル部門などとも連携を取ることで、大会全体として、円滑な警備運営を実施します。
- 警察・消防等の各関係機関と協力体制を構築し、権限に応じた、適切な警備・対応を実施します。

2.13.2 対策

○ 競技会場

- 競技会場の内外に警備員等を配備します。
- 大会関係者と観客については、動線を分けるなどの対策を取り、事故や混乱の発生を防ぎます。
- 観客の入場においては、金属探知機などの警備機器を活用した身体検査や手荷物検査を実施することで危険物の持ち込みを防止します。また、関係者についても、これらの検査を実施します。
- 観客の大会関係者ゾーンへの立ち入りの禁止、VIPと観客の席を分けるなど、適切なゾーニングを実施するとともに、各ゾーンの境界には警備員等を配備してアクセスコントロールを行うなどの対策を講じます。

○ 選手団宿泊施設

- 大会関係エリア内外に警備員等を配備します。
- 大会関係エリアの入口にセキュリティチェックポイントを設け、アクセデーションカードチェックによ

第2章 警備

り関係者以外の入場を防止するとともに、金属探知機などの警備機器を活用した身体検査や手荷物検査により危険物の持ち込みを防止します。

○ 開会式及び閉会式

- 多くのVIPの参加が見込まれ、観客数も多いことが予想されるため、十分な警備員の配置や警備機器の設置を行います。

○ メディアセンター、本部ホテル等その他の施設

- 施設の規模・内容や使用状況などに応じ、適切に警備員の配置や警備機器の設置を行います。

○ VIP及びファミリーの警備

- 警察など関係機関との協議を行い、対象者に応じた適切な措置を講じます。
- 競技会場での観戦時や行事参加時には、観客と動線を分ける、観客席とゾーンを分けるなどの措置を取ります。また、必要に応じて警備の増加など警備体制を強化します。

○ 車両

- 大会関係車両については、各施設への入場時に、必要に応じて検査を行います。
- 警備対象施設においては、入場車両は原則事前の許可制とし、一般車両の流入を防止します。

❖ ロードマップ

2.13 警備	2023年				2024年				2025年				2026年				27年
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	
2.13.1 実施体制																	
統括本部・現地拠点の設置・運営開始					体制/警備員等の確保の検討								各競技会場等との調整				
競技会場・輸送・プロトコル等他部門との連携					要件整理				計画調整				実施調整				
警察・消防等関係機関との調整					情報共有				協力要請				合同訓練等				
2.13.2 対策																	
警備ガイドライン(G)・各施設ごとの警備計画(P)の策定	V1策定(G)		V2策定(G)						最終稿策定(G)								
警備員及び警備機器の確保					競技会場→非競技会場(P)								契約・警備要員、資機材確保				

2.14 大会プロモーション

○ 概要

- 適切な時期に効果的な広報及び広告ができるよう、開催都市や OCA と連携しながら開催国と参加国に対して計画的な宣伝活動に取り組みます。

○ 公式報告書

- 大会終了後 1 年以内に公式報告書（詳細及び概要版）を作成し、公表します。

2.14.1 インターネットの活用

○ 公式 Web サイトの設置・運営

- 期間：2019 年～2026 年（2019 年～2026 年 英語・中国語で発信）

○ SNS（X（旧 Twitter）、Facebook、Instagram、YouTube 等）用アカウント の運用

- 期間：2019 年～2026 年（2024 年～2026 年 英語で発信）

○ 情報発信力のある媒体の活用

- 必要に応じ国際的に影響力のある媒体を活用して PR を行います。

2.14.2 PR イベント

○ 国内 PR イベント

- 期間：2019 年～2026 年
- 主な内容：開催都市と連携して、国内の大規模イベント（東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会、東京 2025 世界陸上を始めとする国際スポーツ大会など）に合わせた PR イベント、カウントダウンイベント、アジア競技大会（杭州大会）に合わせた PR イベント等を実施します。

○ シティドレッシング

第2章 大会プロモーション

- 期間：2025年～2026年
- 場所：主要アクセス道路、公共交通機関、競技会場周辺など
- 主な内容：開催都市と連携して、フラッグ、横断幕、カウントダウンボードの設置など広報及び広告の機会の確保に努めます。

○ 海外に向けた広報及び広告

- 開催国を含めたアジア地域における広報及び広告活動のため、1,500万米ドルの予算を確保し、広報及び広告の実施時期にあわせてOCAに支払い、OCAとの協議の上で広報及び広告を実施します。

○ OCA 総会等での PR

- PRブースを設置し、大会の準備状況及び開催都市を紹介します。

○ 国際スポーツ大会等での PR

- 期間：2023年～2026年
- 主な内容：国際スポーツ大会等（アジア競技大会（杭州大会、ハルビン大会（冬季大会））、パリオリンピック・パラリンピック大会、第6回アジアインドア&マーシャルアーツゲームズを始めとする国際スポーツ大会など）でPRブースを設置し、大会の準備状況及び開催都市を紹介します。

○ PR アンバサダー

- 期間：2024年～2026年
 - ・ 知名度のあるスポーツ選手等をPRアンバサダーに任命し、その方を通じて大会概要及び開催都市を始めとする日本の魅力を紹介します。

○ 2022年第19回杭州アジア競技大会組織委員会（HAGOC）との協力

- 期間：2019年～2023年
 - ・ HAGOCと連携し、双方の公式Webサイトの活用や杭州、愛知・名古屋両大会の共同PR動画の制作、また、OCA総会などの会議やPRイベントの機会などにより、共同でのPRに取り組みます。

○ 2030年第21回ドーハアジア競技大会組織委員会との協力

- 期間：2025年～2026年
 - ・ ドーハアジア競技大会組織委員会と連携し、双方の公式Webサイトの活用などにより、共同でのPRに取り組みます。

○ 大学との連携

- 愛知県内全ての 4 年制大学（52 大学）の学長（総長）が加盟する愛知学長懇話会と連携協定を締結し、学生が大会に関わる活動を通して、大会に主体的に関わり、成長に繋がる取り組みを実施します。
- 学生から募ったアイデアを学生と連携して実現し、大会 PR、機運醸成を図ります。
- 大会時には学生にボランティアとして参加し、活躍してもらえるよう連携を進めていきます。

○ 開催都市及び自治体との連携

- 杭州大会閉会式で引き継いだ OCA 旗のレプリカを展示するフラッグツアーを実施するなど、開催都市及び自治体と連携し、積極的に大会 PR、機運醸成を図ります。
 - ・ 期間：2023 年 11 月～2024 年 3 月
 - ・ 場所：愛知県内 54 市町村
- 大会期間中に、ライブサイト（仮称）を設置し、大会の雰囲気会場外でも選手や住民が楽しむことができるような取り組みを検討します。

2.14.3 報道対応

○ 国内メディアへの充実したコミュニケーション

- 期間：2019 年～2026 年
- 内容：主な国内メディアを対象に以下の対応を行います。
 - ・ 国内メディアとの協力関係の確立
 - ・ プレスリリースの発信
 - ・ 記者会見の実施
 - ・ 定期的な情報交換会の実施
 - ・ ファクトブックの作成及び配布

○ 海外メディアへのタイムリーな情報提供

- 期間：2024 年～2026 年
- 内容：海外メディアに対してタイムリーなプレスリリースの発信を行います。

2.14.4 刊行物

○ 大会ポスター・パンフレット

- 期間：2019年～2026年
- 大会ポスターやパンフレットを作成し、関係各所へ配布します。

○ ニュースレター

- 期間：2019年～2026年
- 大会関係者等に対し、大会の事前情報を伝えるためのニュースレターを作成します。
 - ・ 発行頻度：2019年～2023年 年1回以上
2024年～2026年 四半期に1回

○ 大会ガイドブック

- 期間：2025年～2026年
- 大会ガイドブックを作成し、販売します。

○ 広報グッズ

- 期間：2019年～2026年
- ピンバッジを始めとする各種広報グッズを作成し、イベント参加者などに配布します。

2.14.5 インフォメーションセンター

- 期間：2026年
- MMC等にインフォメーションセンターを設置し、大会パンフレット等の配布など大会に関する情報を提供します。

❖ ロードマップ

2.14 大会プロモーション	2023年				2024年				2025年				2026年				27年
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	
2.14.1 インターネットの活用																	
公式Webサイトの設置・運用																	大会ウェブサイトへの移行
SNSの運用																	
2.14.2 PRイベント																	
大規模イベントに合わせたPRイベント、カウントダウンイベント等の検討・実施																	
国際スポーツ大会等でのPR																	
杭州大会との共同PRの検討・実施																	
ドーハ大会との共同PRの検討・実施																	
大学との連携																	
開催都市及び自治体との連携																	
2.14.3 報道対応																	
国内メディアへの充実したコミュニケーション																	
海外メディアへのタイムリーな情報提供																	
2.14.4 刊行物																	
大会ポスター・パンフレット																	
ニュースレター																	
大会ガイドブック																	
広報グッズ																	
2.14.5 インフォメーションセンター																	
インフォメーションセンター設置																	

2.15 マーケティング

2.15.1 スポンサー、ライセンス付与及び商品化計画

○ スポンサー

- OCA の承認を受けたスポンサーシッププログラム（複数の協賛ランクや様々なカテゴリと設定）に基づいて AINAGOC スポンサー候補へのスポンサーセールス及び契約締結を行います。
- AINAGOC スポンサーが各種企業活動で大会のメリットを享受できるようにスポンサーアクティベーションの実施支援を行います。

○ 知的財産権の保護

- 大会商標の国内商標登録を実施するとともに、OCA 及び OCA マーケティング代理店と協議の上、必要に応じて海外における商標登録を実施し、大会商標に関する知的財産権を確立します。
 - ・ エムブレム、スローガン、マスコット等を商標登録区分（45 区分）で申請します。
 - ・ 知的財産権保護マニュアルを策定し、大会パートナーの権利を保護するため、非パートナーによるアンブッシュ行為を規制します。
 - ・ ライツホルダーに対して大会知的財産の使用を承認します。

○ ライセンス付与及び商品化計画

- ライセンシング事務局を設置し、ライセンシングプログラムに基づき、ライセンシーの募集・選定を行います。
- 大会エンブレムやマスコット等を活用した大会の機運醸成に寄与する商品の製作・販売を行います。
- 伝統工芸品などと連携した地域活性化に寄与する商品の製作・販売を行います。

2.15.2 チケット팅

○ チケットの販売

- チケット팅に関する計画立案、販売等を実施するチケット販売事業者を選定したのち、販売方法、チケット価格、販売スケジュール等について検討し、2025 年 3 月にチケット販売計画を OCA に提出します。
- チケット販売に係るシステムを構築し、一般・関係者に対して販売・発券を行います。

○ 競技会場座席の管理

- 競技スケジュールや会場ごとのブロックプランのほか、現地調査を踏まえて、各会場の座席計画を策定します。

○ チケットのチェック

- 各会場におけるチケットチェックや誘導・案内に関する会場運用フローの策定のほか、スタッフに対する研修等、現場における運営について検証します。

❖ ロードマップ

2.15 マーケティング	2023年				2024年				2025年				2026年				27年
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
2.15.1 スポンサー、ライセンス付与及び商品化計画																	
スポンサーシッププログラムの策定				■	■												
スポンサーセールス及び契約締結				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
スポンサーアクティベーションの実施				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
知的財産の保護				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
ライセンスプログラム策定				■	■												
ライセンス事務局の設置				■	■												
ライセンシーの募集・選定				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
ライセンス商品の製作・販売				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
地域活性化に寄与する商品の製作・販売												■	■	■	■	■	
主催者への報告																	OCAへ報告 ★
2.15.2 チケットティング																	
チケット販売事業者の選定				■	■												
チケット販売計画の策定					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	OCA提出 ★
チケット販売システムの構築					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
競技スケジュール・座席計画					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
会場運用フロー策定・スタッフ研修										■	■	■	■	■	■	■	
チケット販売の開始													■	■	■	■	